

発行 passtell

発行：株式会社サンロフト パステル事業部
創刊：2008年6月20日（年4回発行）
発送先数：11,800施設
〈無料購読・掲載依頼のお問い合わせ〉
〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1
☎ 054-626-8888
🌐 <https://passtell.jp/>

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙 パステルIT新聞

【夏号】
第190号
- 年4回発行 -



「好き」に出会う
正課・課外活動！

子どもの遊びと学びの秘密🔑

Nest 鹿島田保育園
(神奈川県川崎市)

テーブルいっぱいになんだキーホルダーのパーツ。真剣な表情で手を伸ばし、「ピザ!」「アイス!」とお気に入りを選びます。完成したキーホルダーを嬉しそうに見せる子どもたちに、講師は「どうしてそれを選んだの?」と質問。好きな理由を考え、言葉にする時間は、自分自身の興味や個性を見つめるきっかけになります。



子どもの遊びと学びの秘密！詳細は8面へ！

特集
AI活用日々の記録を保育改善につなげる
AIとの協働が支える
人にしかできない保育

保育現場でもAI活用が広がり始めています。向山こども園（宮城県）では、日々の子どもの姿や感じたことを音声で記録し、蓄積したデータをAIで整理・活用することで保育改善につなげています。同園の実践取材しました。

子ども主体の
保育を支える土台

向山こども園の園庭に足を踏み入れると、まず目に飛び込んでくるのが、大きな土山がいくつも連なる光景です。ゆるやかな斜面やくぼみ、高低差のある土山によって、年齢ごとの活動が自然とわかれるよう工夫されています。年長児は自ら活動の「拠点」を選び、アイドルやロボット、色水虫などをテーマに探究的な遊びを展開。保育者はそれらを主導するのではなく、素材や環境を整え、子どもたちの探求を支えています。こうした活動に欠かせないのが、毎日のカンファレンスです。学年スーパーバイザー（以下、SV）と担当保育者が子どもの姿を共有しながら、「どのような環境

音声入力でのデータ
蓄積とAIで変革

同園では、保育者一人あたり1日5件を目標に、エピソード記録を残しています。記録するのは、その日に見た子どもの行動や遊びの様子、関わりの中で感じたことや考えたことです。以前は付箋紙を使っていたが、今はGoogleフォームを活用。遊びの種類や関わった子どもの名前などを選択し、エピソードを音

声で入力することで、スプレッドシートに溜めていきます。データ化により、記録が特定の子どもや遊びに偏っていないかが可視化しやすく、保育者が「何を見ているか」「見落としていないことはないか」を振り返る材料にもなっています。

先述のカンファレンスも音声で記録。担当保育者がSVに話す内容を録音することで、「聴いてもらえた」という実感と振り返りのデータ化を同時に実現しています。その結果、「次に何をするか」の議論へ集中できるようになりました。「文章にすることが大事なのではなく、アウトプットすることが大事」と話す木村創園長。文字入力では考えを整理しながら入力するため、どうしても情報が要約されてしまいます。一方で音声入力は、感覚や考えを自然な言葉で残せるものの、情報量は増え、AIも子どもの姿や保育者の意図をより深く読み取って整理できる効果もあります。

蓄積された膨大な記録は、GeminiやChatGPTで日案や保護者向けドキュメンテーション、SNS投稿文の作成などに活用。木村園長が同園らしさを反映した専用AIやアプリを構築しており、保育者は少ない指

示で利用できます。AIは、保育の質向上と子どもの育

AIと人の「役割分担」の考え方



「AIに勝てるのは人間くさい関わり」

同園のAI活用の根底にあるのは、「仕事を減らす」ことではなく、「保育者にしかできない仕事に集中する」という考え方です。「保育者だけで、労働時間内にすべてのことはやりきれない。絶対に保育者でないといけないこと以外は削ぎ落として、外部リソースやAIを頼る」と木村園長は話します。実際同園では、掃除や洗濯などの周辺業務を外へ委託。確認事項はAIが作成した画面で共有し、朝礼や終礼も廃止しました。文章作成や情報整理にはAIを活用し、保育者が子どもと向き合う時間を確保しています。

木村園長は、「保育者が子どもを見て感じ、考えたことは一次情報であり、その価値はAIには生み出せない」と強調します。「その一次情報があれば、AIと文章をつくっても、オリジナル리티は出せる。努力して一から文章を書く必要はない」と続け、「正解を持つAIではなく、不完全な大人と関わり、時には失敗して、自分で考える経験が幼児期を支える」と、保育者の役割を語ります。

心を揺さぶられる存在という役割は、AIには代替できないもの。同園の実践は、人にしかできない保育を深めるAI活用の可能性を示しています。



（右）複数用意された「拠点」から自ら選び、子どもたちは探求活動。保育者はそれを促す環境を整える／（左上）カンファレンスで話す内容も記録として蓄積／（左下）蓄積した日々の振り返りデータを次なる保育へ活かしている

パステルアカデミー

オンライン開催

保育現場のAI活用

AI活用の実践事例

2026年9月29日(火) 14:00-15:30

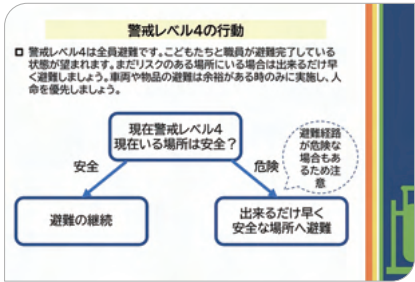
登壇 向山こども園 木村園長

QRコード

（株）仙台こひつじ学園 向山こども園

保育者が子どもと向き合う時間を大切にするため、業務の見直しや働き方改革を継続的に進めている認定こども園。情報発信も積極的に行い、全国の保育関係者が視察に訪れるなど、注目を集めている。





ここから始める施設職員のためのBCP

事故防止に関するセミナーやツールを提供するあいおいニッセイ同和損害保険(株)は、保育施設職員向けの研修動画「ここから始める施設職員のためのBCP」の提供を開始しました。同社はこれまで、保育施設向けBCP作成キットの提供や、自治体などにおける管理職・防災担当者向けの研修を多数実施してきました。受講者から「学んだ内容を現場の職員にも伝えたい」「理解してほしい」といった声が寄せられたことを受け、BCPの理解がまだ十分でない職員にもわかりやすく学べる内容で制作に至ったとのこと。BCPについては、実際に被災した施設から「職員全員がB

CPを認識していたことで、慌てずに対応できた」との声もあり、その重要性が改めて示されています。本動画では、BCPの基本に加え、有事の際にも園運営を継続し、早期復旧を図るために職員一人一人が取るべき行動を学べます。共通編、風水害編、地震編、感染症編の4本で構成され、いずれも60分以内のため、定例の園内研修にも活用しやすい点が特徴です。台風シーズン前の研修や、職員間での認識共有にも活用できます。請求・問合せはサイトから。



協賛 あいおいニッセイ同和損害保険(株)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 保育施設向けBCP研修動画 提供開始

プロフェッショナルコラム・第126話

園の存続で迷いはありますか？



学園経営コンサルタント
石田 敦志



園児が減少し、園の存続を迷う園長先生がいます。日本の未来のために存続しないとダメだと私は考えています。「認定こども園になった方がいいのか？」とよく聞かれます。園児数が存続のポイントだとすると、こども園になるかどうかではありません。どの施設でも、0〜2歳の未就園児向け子育て支援を充実させることです。例えば年少と同じ人数を受け入れる2歳児毎日クラス(満3歳で入園手続きをするクラス)はやって

る場合、その保育料は高くないですか？この2歳児クラスに、こども誰でも通園制度を当てはめて保護者負担額を軽減します。そうすると2歳児が集まるようになります。園児数は安定し、収支差額がプラスとなり、未来投資(環境整備など)ができるようになります。0歳1歳も同様です。ニーズに合った子育て支援を展開し、ファンが集まる学園として発展していきましょう！

石田 敦志

「みんなをHAPPYに」の信念のもと、自身の経験を活かし、園経営、教職員育成を支援。
【無料メルマガ申込】 aishida44@edure.jp

園内に療育施設を新設 職員の不安軽減にも一役

児童発達支援事業所を園内に新設した深堀こころこども園(長崎県)。保育と療育が円滑に連携することで、園児への支援が充実し、職員の不安軽減にもつながっています。



(右から)大串園長と事業所担当の林田先生。療育施設前にて

深堀こころこども園が療育を始めた背景には、個別の支援が必要な子どもへの対応や、保護者への説明に悩む職員の姿がありました。大串真寛園長は、「クラスに支援員を入れて日々の園生活を支えることはできても、支援が必要な園児一人一人に十分向き合うには限界があり、根本的な解決にはならないと感じていた」と振り返ります。

そこで、園内での療育を決意し、2026年1月に「ハッピーテラスキッズ深堀こころラボ」を開所しました。開所前には週2回の体験会を開催し、見学の機会も提供。「療育を病院の治療のように構える方もいるので、『お友だちとの関係が上手になるための習い事』などと伝えていく」と大串園長。保護者の心理的なハードルも下げていきました。

開所準備と運営には、発達支援の施設運営ノウハウを持つデコボコベース(株)が伴走支援。専門知識が必要な行政への申請手続きなどに加え、開所後も豊富なオンライン研修や他園との情報交換の機会があり、心強い支えになっています。

保育と療育が連携 職員の支えにも



支援の様子

とで、保育の職員は対応に迷った際にすぐ相談できるようになりました。保護者へ療育の利用を提案する際も、療育の職員が面談に同席できるため、一人で抱え込まずに支援を進めることができます。これまでは外部事業所を紹介するしかありませんでしたが、今は園内で連携しながら子どもを支えられるようになりました。個人差はあるものの、会話や傾聴力などに成長が見られる子もいるそうです。大串園長は「保育と療育はアプローチの手法が異なるが、補完し合う関係ができて始めている。より連携を深め、療育を利用する子ども、利用しない子ども共に育つ『インクルーシブ保育』を実現していきたい」と展望を語りました。

全国30園以上の導入サポート実績！
児童発達支援ハッピーテラス

空きスペースを活用した児童発達支援の導入
▼まずは無料相談を▼

保育と療育が園内で円滑に連携する仕組み、開所手続きから専門研修、プログラムまでお任せください。



デコボコベース株式会社
お問合わせ先：03-6809-6940
児童発達支援：担当/甲斐 080-7273-5112



協賛 デコボコベース(株) 文 伊藤さくら

保護者の検索行動に変化 AI検索は園選びにも影響

AI検索の普及により、保護者の情報収集の方法が変わりつつあります。園選びにも影響が広がる中、園が発信する情報をAIに正しく理解してもらう工夫が求められています。



Google検索結果画面。上部にAI Overviewが表示される

保護者の検索行動は、AIの調査にBright Edgeの調査に

増えるゼロクリック 検索結果の変化

AI検索の普及により注目されているのが「ゼロクリック検索」です。これはホームページを訪問せずに、AI Overviewだけで情報収集を終える行動を指します。



(上) AIに園について質問している例 / (右) 保護者がAI検索で園の情報を収集しているイメージ

AIの回答内容が、保護者の情報収集や園選びの判断に影響を与える時代になりつつあります。

FAQ改善で実現 AI時代の情報発信

こうした状況を受け、パステルIT新聞を発行する(株)サンロフトでは、園ホームページのAI検索対策支援を進めています。Google検索セントラル(Googleの公式SEO関連情報ポータル)では、「AI検索向けの特別な対策よりも、利用者にとって価値のある情報をわかりやすく発信することが重要」と案内しています。そこで提案しているのがFAQページの改善です。

FAQは「よくある質問」と「回答」を整理したページのこと。保護者にとってわかりやすいだけでなく、AIが内容を理解しやすい形式としても注目されています。同社では、園ホームページのリニューアルや運用支援を通じて、AI検索を意識した構成や文章表現の見直しを提案しています。これからは、園の魅力や取り組みを保護者にもAIにも正しく届ける視点が欠かせなくなりそうです。

文＝宮田侑子

もっちゃんIT相談室

パソコンの使い方やシステム運用に関する悩みを解決！
保育ICTシステムの電話サポートを行う
パステルラインサポートセンターがお答えします。

【今月の悩み】

園内メモや保護者対応で同じ文章を何度も入力しています。もっと手早く入力する方法はありませんか？

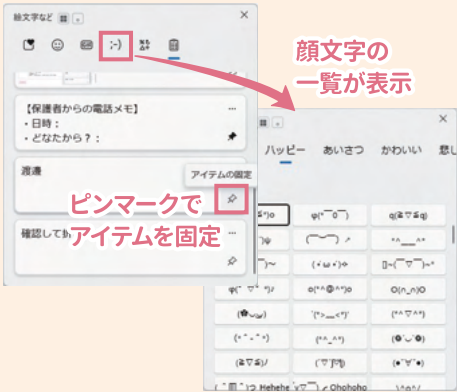
A

入力作業の効率化に役立つのが、Windowsの「クリップボード履歴」です。「Windowsキー」と「V」を同時に押すと、クリップボード画面が表示され、直近でコピーした内容を最大25件まで呼び出せます。

よく使う文章は、履歴の「…」から「アイテムの固定」を選んでピン留めしておくのがおススメ。例えば、保護者からの電話内容を園内メモへ残す際の定型文や、旧字体を含む「渡邊」「渡邊」「齋藤」「齋藤」などの氏名も、毎回入力せずに呼び出せます。

また、クリップボードには顔文字機能も用意されています。保護者への連絡でやわらかな印象を伝えたいときは、一覧から選ぶだけで入力が可能です。最近使ったものは履歴に残るため、次もすぐに見つけられます。毎日の入力作業を少しラクにしてくれる便利な機能です。ぜひ活用してみてください。

【本コーナーではITに関するお悩み投稿を受付中。投稿は下記QRから】



園内メモの定型文や旧字体の氏名も、ピン留めしておくとう入力がスムーズ

「ハ」をつなぐ ホームページ

児童発達支援・保育所等訪問支援事業所
りあんの丘



近年、園が児童発達支援事業を始めるケースが増えています。「りあんの丘」は、認定こども園の中にある療育施設ですが保護者が利用前に知りたいことは、園への入園検討とは少し異なります。そのため子どもに合った支援を受けられるか、どのような手続きが必要かなどを、療育施設専用のHPにまとめて、保護者に寄り添う情報設計になっています。

(デザイナー / ディレクター 山本)

専門家・パステルブログチームが厳選

NEWS

運動指導のノウハウが詰まったAR運動遊び SPOMARU 数量限定で無料提供

幼児体育指導を行う(有)さわだスポーツクラブは、韓国のシステム開発会社CODEREACHと共同開発したAR運動システム「SPOMARU(スポマル)」の提供を進めています。50年



運動遊びを体験する子どもたち

以上にわたり子どもたちの運動指導に携わる中で、近年は運動環境や指導体制をめぐるさまざまな課題を感じていたといえます。

そこで韓国で普及が進むAR運動に着目。これまでの運動指導ノウハウを活かし、脳を刺激したり、リズム感を養ったり、狭いスペースでも体を動かせるSPOMARUが誕生しました。SPOMARUは機械を設置し、タッチパネルを操作するだけで床面への映像投影が可能。子どもたちは映

像に合わせて指定された場所を踏んで体を動かします。視覚的にわかりやすく、さまざまな子どもたちが楽しめる点も特徴です。体験した園からは「子どもたちは最初様子をうかがっていたが、やり始めると大盛り上がりだった」との声も寄せられています。暑さで外遊びが難しい時期の活用にもつながりそうです。

同社では今秋の導入を見据え、モニター園として限定でSPOMARUを無料提供予定(※一部条件あり)。問合せは下記QR

文＝宮田侑子



管理者向け無料オンラインセミナー キャリアパスで実現する人材育成

保育施設向けの人材育成支援を行う(株)ネクサスは、経営者・管理者を対象とした無料オンラインセミナーを定期的に開催しています。

職員一人一人の成長の道筋を具体的に示す「キャリアパス制度」の導入支援を250園以上で実施してきた同社。セミナーでは、そのノウハウを活かして、職員育成に役立つ情報を届けています。

毎月数回セミナーを実施し、キャリアパス、人事制度評価など保育施設職員が育つしくみづくりを解説します。扱うテーマは、新人職員の定着や早期戦力化、ミドルリーダーの育成、地域からも職員からも選ばれる

園づくりなどさまざまなです。

8月の講座では、キャリアパス制度を軸に、人材定着につながる制度の考え方から、設計の全体像、等級・評価・賃金を連動させるポイント、園の理念を人材育成に落とし込む方法を紹介し、人材定着や組織づくりに課題を感じる園経営者にとって参考となる内容です。8月の開催日は5、6、19、20日の計4回。時間はいずれも午後1時30分～2時30分。講師は、同社のキャリアパス設計コンサルタントです。詳細は同社サイト下記QRへ。

文＝伊藤さくら



導入校8割が卒園後クラス開設！ GrapeSEEDが経営安定化の一手に

世界16か国で導入され、0歳から学童期向けの英語教育カリキュラムを提供する「GrapeSEED」。導入校の8割以上がアフタースクールを開設し、継続的な学び支援と少子化時代の経営安定化につなげています。



アフタースクールのレッスンの様子。「園」という慣れ親しんだ環境・友人関係は子ども・保護者にとって安心の居場所に

クールの開設を推奨してきました。小学校から園への送迎や習い事のバランスなど課題はあるものの、現在は8割を超える導入校がアフタースクールを開

少子化が進む中、卒園後も通い続けられる事業展開は、安定した園経営の力。そうした園の経営課題に対し、「教育」と「経営安定」の両立モデルを提案するのが、0歳から学童期向けの一貫した英語教育カリキュラムを提供する「GrapeSEED」です。

子どもの選択肢と 経営安定に寄与

小学生対象のアフタースクールの開設は、園にとって安定した運営基盤と子どもたちの確かな英語力につながっています。知識として英語(文法・単語)を学ぶ

のではなく、日本語と同様に一つの言語としての言葉の土台をつくることを重視するGrapeSEEDのレッスンは、コミュニケーションの連続。だからこそ、子どもたちが口を揃えて話すのは、「英語の楽しさ」。勉強というよりも、先生や友だちとの会話を楽しむ感覚に近いようです。

そして、継続による子どもたちの英語力は、日常や海外旅行先での会話など保護者や周囲も驚くほどに上達。子どもの得意を見つけた姿に、保護者からは喜びや安堵の声も寄せられます。広がるのは、子どもの未来の選択肢。少子化時代の新しい園経営モデルは卒園児の挑戦を後押しする良策といえます。子どもが英語を話す姿に感動すると評判の導入校見学会も必見です。

導入校見学会 申込受付中

実際の現場や運営を確認できる見学会を年間で開催。導入の不安や自園に合うかを確かめられます。詳細はサイトから。

協賛＝GrapeSEED(株) 文＝服部由美

GrapeSEED
ENGLISH FOR CHILDREN



「子どもの未来を拓く英語」が、園のチカラになる

GrapeSEED英語教育 見学会
各地で開催中!

園児獲得のヒントを学べる特別イベントも開催! 詳しくは 同封のチラシをご覧ください。

お申し込みは
こちらから



0歳 から使える、読み聞かせ絵本
GrapeSEED Baby



1セット12冊
プレゼント
ご応募はこちら!



対談

日常で積み重ねる
保育防災

能登半島地震から2年半――
地域共生と復興への思いから、地域で人形劇フェスティバルを開催した平和こども園日吉園長と、保育防災を推進する日本保育防災協会の西畑氏が語る、日常の大切さ。



写真右から日吉園長、西畑氏

平和こども園(石川県鳳珠郡穴水町)
日吉 輝幸 園長

令和6年能登半島地震翌日に自主避難所として園を開放。能登の復興と地域の文化拠点になることを目指し、街中で人形劇の祭典を開催。

日本保育防災協会 / (株)ニシハタシステム
西畑 進太郎さん

IP無線機や緊急地震速報機を提供。2023年に(一社)日本保育防災協会を設立し、保育防災カンファレンスの開催や被災地支援に取り組む。

園と地域の関係性を
日常から育む

西畑 被災地の状況を掴むために能登を初めて訪れたのは2024年4月。以来、現地の園を訪問しています。が、元に戻すには長い年月がかかることを訪れる度に感じています。

日吉 「復旧」「復興」という言葉がありますけど、復旧は元の状態に戻すこと、復興はさらによい状態にすることを言うんですね。

西畑 そうした中で日吉先生が地域を巻き込んで人形劇フェスティバルを開催すると聞いて、今までにない動きに衝撃を受けました。

日吉 もともと30年以上前からプロの演者を園に招いて公演してもらっていたんです。人形劇は時に笑いの渦に包まれ、時に幻想的な雰囲気にも浸れる豊かな可能性を秘めた芸術文化。子どもから大人まで楽しめる

この人形劇で、復興に役立てないかと思ったんです。西畑 私も公演を見ました。本当に童心に戻って腹の底から笑った感覚です。

日吉 同じものを見て時間を共有するのは大事ですね。私は10年ほど前から地域共生を軸にしています。が、震災後に思ったことは、私たちがやるべきことは子ども

どもの保育の保障と園が地域の文化拠点になることでした。仮設住宅の高齢者を園行事に招いたり、海洋プラスチックを使った工作を一緒にしたり、人形劇も同様です。地域で暮らす人たちが心豊かに生活できることが復興で、そのために園ができることは多くある。

西畑 そうした日頃からの地域交流は、結果的に災害時に価値になりますよね。

日吉 そうですね。災害時に園児を守るのに、時には地域住民の力を頼らなければならぬときもある。せめて園がある周辺地域の方には園児の顔を知っていた方がいいです。我々も地域の顔を知っていききたい。関係性を日常でつくるのが大切だと感じます。西畑 保育防災を「特別なもの」と捉えるのではなく、日常に浸透させる考え方がよいですね。私たちも災害時の通信手段や日常の

コミュニケーションツールとしてIP無線機を保育施設に提供してきました。ただ、防災はツールを導入して終わりではない。日常に落とし込む意識や知識が不可欠。だからこそ、日本保育防災協会を立ち上げ、保育防災カンファレンスのような保育防災の情報発信を強化しています。

日吉 保育防災カンファレンスは非常に有効な場だと思います。これは被災して初めてわかることで、「備えあれば憂いなし」と言うように、以前の私だったら防災基準は満たしているから他人事だと思って参加しなかったかもしれない。震災で自分事になって、その重要さを実感しました。

他人事から自分事へ
震災が変えたもの

日吉 震災が変えたのは、地形だけではなく人の気持ちもそう。生かされた命をどう使うかを考えなければいけない。園児や職員だけではなく、地域住民の方々のためにありたいと強く思うようになりました。

西畑 被災地に行かないとわからないことがあると感じます。カンファレンスで防災を日常に落とし込む仕掛けは継続すると同時に、次のステップとして、被災地を訪れて自分事化する企画までつなげていききたいと考えています。

日吉 震災当時、園を自主避難所として開放しました。その経験からも、根本的な部分で防災に対応する知識を身につける働きかけは絶対に必要です。

西畑 広く防災の知識を届けていきたい。きっと我々のような民間団体にしかできないこともあると思うんです。日本保育防災協会とニシハタシステムそれぞれの強みを活かして、会員のプラットフォームをつくったり、有事に備えた支援のしくみを小規模でもはじめ

ることを構想中です。日吉 あとは、それぞれの園にあった防災計画や避難計画をつくって運用するのも大事ですね。それこそ



(右) 備蓄品棚。震災前から簡易トイレの使い方を園児に教育 (上) 全国から集った演者による人形劇に子どもも大人も夢中!



地域の実情に合わせてどこに協力を求めるとか、職員が実際に避難経路を歩いて避難計画をつくるとか。

西畑 大事ですね。カンファレンスは救命救急や消防士経験のある方も登壇されます。多様な角度から知識を取り入れ、自分で選択できるような防災力につなげてもらえたらうれしいです。

日吉 きっかけづくりですね。それから私は、日々の保育の積み重ねが防災に活きると思っています。震災当時、被災による心の傷や不安から子どもを立て直すには、いかに早く日常生活を取り戻せるかだと考えていました。発散だけでなく、落ち着いて穏やかに集中して過ごす時間も必要。普段の保育の考え方と同じ。それができるのは、やはり園しかないと思います。

備蓄収納
防災食
震災伝承
避難訓練

2026 保育防災
カンファレンス

私たちの無事から始まる、子どもを守る防災

開催日時 7.27月 28火 29水 30木 31金 13:00
17:00

オンライン
(Zoom)

参加費
無料

申し込みはこちら

QRコード

園経営者と保育者のためのITに役立つ情報満載！
「パステルIT新聞」公式Webサイトはこちらから

パステルIT新聞

<https://passtell.jp/>

無料テンプレートも
あってとっても便利♪



5名の職員を中心にAI活用が拡大

Aーによる画像生成が、保育現場で広がっています。くるみこども園(千葉県)では、AI活用を先進的に進める園への視察をきっかけに、「Gemini」を活用した掲示物や資料づくりを開始。それまでWordやPowerPointで一から作成

複数の素材をAーでつくり、PowerPointで整える手法を取っています(図③)。
子どもたちにわかりやすい表現を目指し、保育・教育の視点から保育者が細かな指示や調整を重ねながらAーを活用しています。

また、子育て支援センターでは、毎月の活動カレンダーをAーで作成。すべてをAーで完結させず、

もっと保育に！ パソコンつかっちゃお！ 画像生成AIで園の掲示物づくり

したり、フリー素材を探したりしていた作業が、Aーで必要な画像を生成できるようになり、「作成の作業時間が半分くらいになった」という声もあがっています。現在では、子ども向け、保護者向け、地域向け、職員向けと、さまざまな資料や掲示物の作成にAーを活用しています。

療育にも取り組む同園では、子どもの年齢や発達段階に合わせ、Aーへの指示にも保育者の専門性が光ります。「子どもによっては斜めから描かれた靴だとわかりにくいこともある」という専門的な視点から、靴の向きを正面に変更したり(図①)、実際の道具の写真や手書きの図をAーに読み込ませたり(図②)して、「誰にでもわかりやすい表現」を追求しています。

くるみこども園の制作事例



はさみの持ち方のお約束



トイレの使い方の手順



ロッカーの使い方



食育の掲示物



図③

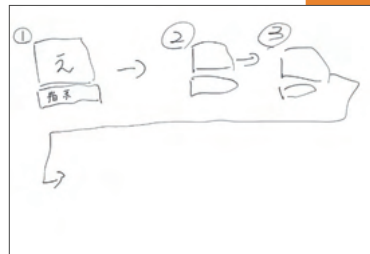
「スタンプ調のイラストを作成して」という指示で、小さなイラストをAIで作成。一部を修正すると、他の部分が変わることもあるため、最後は人が仕上げる。

AIだけで完結させない



PowerPointなどを使い、AIで生成した複数の画像素材を配置して、最終的に完成させる。

図②



手書きの図や写真をAIに読み込ませることで、言葉だけでは伝えづらい画面のレイアウトや意図を伝えている。これにより、思い描くイメージをより正確に反映できる。

メモの画像で指示



+マークの「ファイルをアップロード」から画像を選択。「添付画像のようにして」と入力・送信。

図①



最初に生成された斜めの向きの靴の画像(上)を「靴の向きを正面にして」と具体的に指示することで、正面の向きの靴の画像(下)が改めて生成された。

プロンプトは具体的に

- 靴の向きを正面にして
- はさみを持つ手の位置はおへその前にして
- ねんどの色はカラフルではなくグレー1色にして
- ○○の部分は赤字にして、△△の部分は青文字にして

アイデア提供：くるみこども園 文：宮田侑子

「投票して」 アカウントを 狙う詐欺急増

LINEやInstagramで、知人になりすましたメッセージが届く詐欺が増えています。例えば、「子どもの絵画コンクールに投票して」といった内容です。

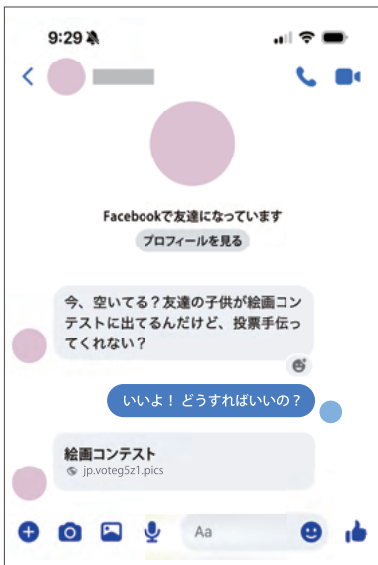
「知り合いの頼みなら」と、つい協力したくなりますが、メッセージに記載されたURLをクリックすると偽のログイン画面に誘導されます。情報を入力するとアカウントが乗っ取られ、今度は自分の名前で同じメッセージが広がり、乗っ取

れたアカウントで家族や友人へ送金を要求する手口も確認されています。知人から同様のメッセージが届いてもクリックせず、別の手段で本人に確認してください。もし情報を入力してしまったら大至急パスワードを変更し、すでにログインできない場合はSNS運営元へ問い合わせをしてください。あわせて、自分の名前で周囲に不審なメッセージが送られていないかも確認しましょう。園内で被害を広げないために職員間で共有し、おたよりなどを通じて注意を呼びかけることが大切です。

情報セキュリティ Q&A

Q 今月のお悩み

保護者から「〇〇さんのLINEの絵画コンクール投票、先生もやりました？」と聞かれました。コンクールの件は初耳で、投票のURLも不審に感じています。これは何か怪しいものですか？



Facebook Messengerに実際に届いた詐欺メッセージ(一部加工)。偽サイトでIDやパスワード、認証コードを入力するよう誘導される

文：芦川桃香

わかんばれ!!
わかんば先生

Vol.190

作 はせがわやすこ

「AIイラストあいまいアシスト!」編



生成 AI でポスターやイラストが作れる時代です。しかし、一見問題なさそうに見える文字やイラストには、思わぬミスが含まれていることも。最後は人の目で確認することが大切です。詳細は新聞サイトをご覧ください。

原点帰で思い出すのは、25年前、小学校教師が保育園勤務への岐路に立った頃のことです。奄美諸島を含め、鹿児島県内4つの小学校での17年間の日々は充実していましたが、母を継ぎ故郷に腰を据えることを決意しました。しかし、ほのぼのとした日々を想像していた私を待っていたのは厳しい現実! かつて600名いた校区の小学校



好奇心をオンにする 保育の創造を

う想いが湧きました。専用の家を建設して先駆的な実践検証を始めました。デジ

AI創作の園歌♪つるみねの冒険♪を元気に歌う園児からパワーをもらう日々である。神戸教育短期大学客員教授を兼務、ハイブリッド保育の実践事例を伝えている。

杉本 正和 先生

た時、園児の笑顔や歓声に、デジタル環境の創造がイノベーションを起こせるという想いでした。それが「9割のアナログ保育と1割のデジタル保育」という言葉を生み、未来を見据えたバランスのよいカリキュラムを実践できるようになり、保育園経営もV字回復しました。本コラムは、「よりよい保育環境と保育内容の創造」が自身の原点だと再認識できる機会となりました。激変が進む時代だからこそ、好奇心をオンにする保育を楽しみ続けたいと思います。

園の先生が語るコラム

原点帰

-子どもの未来をつくる人-

つるみね保育園(鹿児島県)
園長 杉本 正和

は昨年度9名まで激減、閉校になったほどの過疎化少子化の地域であり経営は困難を極めました。アナログ環境の創造に打開策を求め、古い園舎の補修、送迎バス運転、送迎ステーション建設、園庭リニューアルなどを続けました。そんな中、15年前、「Passtell」をプロジェクトとして、園児の笑顔や歓声に、デジタル環境の創造がイノベーションを起こせるという想いでした。それが「9

割のアナログ保育と1割のデジタル保育」という言葉を生み、未来を見据えたバランスのよいカリキュラムを実践できるようになり、保育園経営もV字回復しました。本コラムは、「よりよい保育環境と保育内容の創造」が自身の原点だと再認識できる機会となりました。激変が進む時代だからこそ、好奇心をオンにする保育を楽しみ続けたいと思います。

今月の表紙 秘密のしかけ人

株式会社meepa

好きな食べ物を選びながら取り組んだキーホルダーづくり。体験を提供したのは(株)meepaです。同社は、子どもが多くての体験をした中から自分の興味関心が見つかるよう、テニスや空手など毎回異なるプログラムを独自に企画。保育施設の正課・課外活動のほか、放課後児童クラブなどにも提供しています。体験の様子はレポートとして定期的に保護者へ配信しており、親子のコミュニケーションにもつながっています。



担当者の声 山中 健太郎 さん

近年、子どもたちの体験機会が限られています。当社は多彩な講師とのネットワークを活かして、保育・教育施設に、ご家庭や先生方に負担のない形で、子どもたちに多種多様な体験機会を提供しています。非認知能力向上や子どもたちの「本当の好き」との出会いを大切にしています。



文=伊藤さくら

来年度公開に向けて

保護者の検索行動が変わる今、 ホームページ掲載情報の見直しを!

パステルのホームページ制作なら...

15年以上の
園向け制作実績

かんたん
更新システム

あんしん
サポートつき

passtell パステル ☎054-626-8888

受付時間
平日9~17時

制作事例は
こちら!



うとようちえんは
たのしいっばい!

有償の園児体験は、
「次年度以降の園児体験」です。
多くのお客さまからご依頼を頂戴し、
園児体験をさせていただきます。
園児体験は、園児体験をさせていただきます。
是非、是非はご検討ください。
お問い合わせは、お問い合わせください。

